

「地域における気象防災業務のあり方検討会」（第1回）の開催について

地域の気象防災に一層資する気象台の業務の方向性や取組について検討するため、「地域における気象防災業務のあり方検討会」（第1回）を4月26日（水）に開催します。

平成28年台風第10号に伴う大雨による水害等、近年、大雨等の顕著な気象による災害が相次いで発生しています。また、各地で地震・火山噴火による被害も発生しています。このような災害に的確に対応していくためには、少子高齢化・過疎化の進展等の社会情勢の変化も踏まえつつ、地域における気象防災業務のあり方を検討することが急務となっています。

この地域における気象防災業務を一層推進していくためには、これまでの防災気象情報等の「発信」の視点に加え、自治体や住民等における防災気象情報等の「理解・活用力」を高めるなど、地域の目線に立った取組が一層重要になってきます。

「大災害は必ず発生する」との意識を社会全体で共有し、これに備える「防災意識社会」への転換に貢献していくため、有識者等からなる「地域における気象防災業務のあり方検討会」（第1回）を下記のとおり開催し、地域の気象防災に一層資する気象台の業務の方向性や取組について検討します。

記

1. 日時 平成29年4月26日（水）13時00分～15時00分
2. 場所 気象庁講堂（気象庁2階）
3. 議事（予定）：
 - ・地域における気象防災業務のあり方について
4. 検討会委員 別紙のとおり

5. 当日の取材について

- ・傍聴は可能ですが、会場の都合上、希望される方はあらかじめ、4月25日（火）17時までに以下の連絡先までご連絡願います。また、場合によっては、席を準備できない場合もありますのでご了承ください。
- ・写真・映像等のカメラ撮影は、冒頭のみ可とさせていただきます。
- ・後日速やかに、議事要旨を公表します。

【問合せ先】（電話）03-3212-8341

全般に関する事 企画課（内線 2261）

傍聴・頭撮りに関する事 広報室（内線 2311）

(別紙)

地域における気象防災業務のあり方検討会 委員

五十音順、敬称略

(有識者)

岩田 孝仁 静岡大学防災総合センター長

片田 敏孝 東京大学大学院情報学環 特任教授

國定 勇人 三条市長

小室 広佐子 東京国際大学 副学長兼国際関係学部長

佐藤 主光 一橋大学国際・公共政策研究部 教授

鈴江 奈々 防災士、日本テレビ放送網 アナウンサー

座長 田中 淳 東京大学大学院情報学環 教授

中川 和之 株式会社時事通信社 解説委員

中山 一生 龍ヶ崎市長

新野 宏 東京大学大気海洋研究所 教授

(関係省庁)

荻澤 滋 総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課長

黒川 純一良 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課長

廣瀬 昌由 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官